



静岡県議会報告

令和4年3月予算号

自民改革会議

いつわかい
五輪会

おち あい しん ご

静岡県議会議員

落合慎悟

一般会計 1兆3,644億円

(うち新型コロナウイルス感染症対策分908億円)

予算編成・組織定数改編の方針

富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり

～危機を克服して未来を拓くデジタル田園都市の実現へ～

方針1 人づくり・富づくりを具体化する取組

- (1) 安全・安心な地域づくり
- (2) 持続的な発展に向けた新たな挑戦
- (3) 未来を担う有徳の人づくり
- (4) 豊かな暮らしの実現
- (5) 魅力の発信と交流の拡大

方針2 生産性の高い持続可能な行財政運営

- (1) 政策の推進に向けた組織体制の強化
- (2) 将来にわたって安心な財政運営の堅持

単位:億円

区分	R4当初	R3当初	増減
歳出総額	13,644	13,094	550
義務的経費	6,358	6,296	62
人件費	2,957	3,001	△44
扶助費	1,382	1,328	54
公債費	1,911	1,861	50
税関関連法定経費	2,227	2,194	33
投資的経費	1,935	1,842	93
公共・直轄	1,008	977	31
単独	914	854	60
その他	3,124	2,762	362

<義務的経費> +62億円

- ・人件費
給与改定(△24億円)
- ・扶助費
後期高齢者医療給付費負担金(+17億円)
障害者自立支援給付費負担金(+14億円)
- ・公債費
元金の償還額(+70億円)

<公共・直轄> +31億円

- ・一般公共(農地)の増(+24億円)

<単独> +60億円

- ・県立学校等の新築・建替(+74億円)
- ・県土強靱化対策(+10億円)

<その他> +362億円

- ・新型コロナウイルス感染症対策助成(+277億円)
- ・看護、介護、保育職員等の収入引上げ(+62億円)

「わたしの避難計画」普及事業費 4,500万円

県民の早期避難意識を醸成するため、津波浸水想定区域において、住民一人ひとりの避難計画を普及展開を図る。
webサイト上で「わたしの避難計画」が作成できるポータルサイトの開設。



茶業研究センター施設整備事業費 1,026百万円

ChaOIプロジェクトの研究開発拠点であるChaOI-PARCとして必要な機能を備えた茶業研究センターの整備(既存棟の改修等の実施)



静岡社会健康医学大学院大学運営事業費 91,700万円

R3年度、34億円の予算で改修工事が完了した。県民の健康寿命延伸のため、大学の運営を支援するとともに、社会健康医学研究推進基本計画に基づく研究を推進する。大学院大学生に対する奨学金の貸与額:60万円/年、返済免除:県内5年勤務



カーボンニュートラルポート関連事業費 29,500万円

事業目的:港湾地域における温室効果ガスの排出が全体としてゼロになる「カーボンニュートラルポート」を形成するため、脱炭素化に向けた取組を行う。
バイオマス発電用燃料受け入れのための整備 御前崎港 防舷材設置、臨港道路舗装等。清水港の業務艇更新のため、水素燃料船の設計を行なう。



要保護・要支援児童対策関連事業費 10,513万円

事業目的:要保護・要支援児童に対する支援を充実するため、児童相談所の相談援助体制の強化や児童虐待事案に迅速に対応するため、県独自に警察官を5人配置。
県立こども病院に医療機関向けの虐待相談窓口を開設。
東部・富士・中央・西部児童相談所に各1人弁護士配置。



夜間中学設置事業費 4,710万円

事業目的:全ての在住者に義務教育の機会を提供するため、県立夜間中学を設置し、だれ一人取り残さない学びの提供を目指す。
磐田市学習交流センター内に夜間中学「ふじのくに中学校」を、分教室を県立三島長陵高校内に設置し、令和5年4月開校する。



食肉センター再編成整備事業費 5,250万円

老朽化している県内2カ所浜松市とJA所有の食肉センターを再編し、菊川市に県が統合整備する。
R4年度実施設計、R7年度完成予定。
豚施設、牛施設、汚水処理。



県立中央図書館関連事業費 12,480万円

老朽化が進む県立中央図書館の東静岡駅南口県有地への全面移転整備に向け建築設計業務等を実施する。
延べ床面積、19,680㎡
R4年度から建築設計、完成予定R8年度



CNFプロジェクト関連事業費 7,670万円

CNF(セルロースナノファイバー)とは木材等の植物繊維をナノオーダー(1mmの百万分の一)にまで微細化することにより得られる新素材。軽量、強度、形成自由、環境負荷の点で優れた特徴を有する。
富士工業技術センターに射出成型機を整備。



富士山静岡空港西側集客施設整備

富士山静岡空港株式会社と連携し、民間活力を活用して空港と一体的な整備を促進して、交流や賑わい等の拠点とする。
空港西側敷地内にはホテル、道の駅なども整備される。
西側県有地には整備する「地域活性化・次世代育成ゾーン」のほかに「アウトドアゾーン」「防災ゾーン」などを計画している。



EV・自動運転化等技術革新対応促進関連事業費 41,825万円

EV化等への対応を支援する次世代自動車センター浜松の運営支援(6,400万円)
・欧州製EV車両分会活動
・脱炭素対応講座、CO2削減工法の開発
自動運転実証実験(8,000万円)
デジタルものづくり推進のため、浜松工業技術センターに金属3Dプリンターを導入する(14,550万円)。



金属3Dプリンター